

悪口ダイヤモンド

作詞作曲 清水信吉

編 曲 maru

「6章 テーマ曲」

悪口書いて、書いて、書いて、書いて
悪口書いて、書いて、書いて、書いて

バカアホマヌケ、お前なんか死んでしまえ
この世の全てが憎くなることありますか？

今日もまた辛い想いばかりしてるの私だけ
なんて不公平なの？

愛を書いても煮え切らないよ
全て綺麗事に聞こえる

苦しいよ、もう生きれないよ
それが今の私にとって
大切な

悪口書いて、書いて、書いて、書いて

ポケカスノロマクソが 目の前から消え失せろ
神様ですら恨みたくなることありますか？

今日もまた暗い過去が覆い被さるの私だけ
なんて理不尽なの？

感謝書いても 治らないよ
できない私をまた責めるだけ

助けて もう殺してよ
これが今の私にとって大切な

ダイヤモンドになる

愛を書いて憎しみも書いて
全てが私の心の叫び
悲しいよでも嬉しいね
ぐちゃぐちゃな気持ち全部
私だけの大切な
全てが輝く

ダイヤモンドになる
悪口書いて、書いて、書いて、書いて

9. 悪口ダイヤモンド

—感情の解放と変容—

ネガティブな感情の扱い方を、誰も教えてくれなかった。

だからこそ、人を責めたり、
陰口を言ったり、あるいは自分を責めて、鬱っぽくなったり……

まさに経営者になったきよちゃんは
「立派な人間でいなきゃ」と自分に言い聞かせ、
自分のネガティブな感情すら封じ込めてしまい、
心の感覚を失っていったそうです。

でも、心の学びに会い、
ノート術と組み合わせて生まれたのが《悪口ノート》。
これは単なる愚痴吐きではなく、
感情を“深く潜っていく”ことで、
その奥にある本当の願い＝“ダイヤモンド”に辿り着くメソッドです。

どんなに汚い感情も書いて大丈夫。
どんなに酷い思想も書いて大丈夫。

誰も見てないから。
よく神様に見られそうで書けないという人がいますが
思ったことはとっくに全て見られています。

なのでせめて自分が感じたことしてしまったことは
封じ込めるのではなく、
書いてあげることが自分を大切にすることなのです。

だからこそ、本当の変容が起こる。
この曲を聴きながら、
あなたの感情をノートに解き放ってください。
その先に、必ずダイヤモンドがあります。